

平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年3月31日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4829 URL http://www.nihon-e.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績(平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	3,663	△8.9	225	47.6	244	45.6	60	△53.7
28年5月期第3四半期	4,022	7.5	152	32.8	167	33.1	129	△20.2

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 101百万円(ー%) 28年5月期第3四半期 △6百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	1.48	1.48
28年5月期第3四半期	3.20	3.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第3四半期	6,161	5,235	80.8	122.67
28年5月期	6,017	5,217	83.5	123.96

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 4,976百万円 28年5月期 5,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年5月期	—	0.00	—		
29年5月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	△4.2	330	50.2	350	38.6	135	△58.7	3.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）
 詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期3Q	40,567,200株	28年5月期	40,557,700株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	－株	28年5月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期3Q	40,561,088株	28年5月期3Q	40,537,675株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるモバイルコンテンツを取り巻く環境は、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォンの普及が一般化し、世帯あたりの普及率が67.4%（平成28年3月、注1）まで成長しております。また、モバイルコンテンツ市場は1兆5,632億円、モバイルコマース市場は2兆8,596億円（平成27年、注2）まで成長している状況にあり、今後も同環境は大きく発展していくことが予想されます。

これらの状況において、当社グループといたしましては、高機能で付加価値の高いサービスの開発・提供及び新しい事業モデルの構築を推進し、より安定した企業基盤の確立と事業拡大に向けた一層の企業努力を重ねてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は36億63百万円（前年同四半期比8.9%減）、営業利益は2億25百万円（同47.6%増）、経常利益は2億44百万円（同45.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は60百万円（同53.7%減）となりました。

（注1）内閣府 発表

（注2）一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム 発表

各セグメントの業績は、次のとおりです。

<コンテンツサービス事業>

コンテンツサービス事業におきましては、キャリア（移動体通信事業者）向けサービスについては、月額有料会員サービス及び定額制サービスの広告効果が引き続き低下する中、主に「ATIS交通情報」や「ちょこっとゲーム」の利用促進に努めてまいりました。

一方で、「App Store」や「Google Play」向けサービスについては、アプリの開発及び投入を行うとともに、各種アライアンスの強化を図ることで収益モデルの構築を進めるとともに、コンテンツプラットフォーム化の推進等に取り組んでまいりました。

以上の結果、コンテンツサービス事業の売上高は13億88百万円、セグメント利益は5億60百万円となりました。

<ソリューション事業>

ソリューション事業におきましては、システムの企画、構築、運用、デバッグ、サーバ保守管理等の法人向け受託開発については、IT投資の活性化を背景に受託案件の獲得を拡大させてきた他、法人向け業務支援についても、各種サービスの開発提供に努めた結果、増勢に推移いたしました。

また、取引の安全性を保証する仲介サービス（エスクロー、注3）については、フリマアプリ『Dealing』において、多種多様な決済に対応することで利便性の向上を図りつつ、セキュリティ機能を強化することで収益性の改善を行ってきた他、エスクローのビジネスモデルを活用した新サービスの企画開発を進めてまいりました。

その他、平成28年6月に東京魚市場卸協同組合初の電子商取引サービス『いなせり』の企画・開発・運営を独占的に行う子会社「いなせり株式会社」を設立、同組合と業務提携し、平成28年12月にサービスを開始いたしました。

一方、広告代理サービス「店頭アフィリエイト」については、店頭でのコンテンツ販売方針変更の影響を受ける中、取扱商材の拡充と販路開拓の推進に注力してまいりました。また、アプリ広告については、女性向けヘルスケアアプリ『女性のリズム手帳』において、エキサイト株式会社との共同運営を推進させてまいりました。

海外では、中国（上海）の携帯電話販売店（チャイナテレコムショップ）での法人向け販売に努めてまいりました。

以上の結果、ソリューション事業の売上高は22億74百万円、セグメント利益は40百万円となりました。

（注3）物品などを売買する際に取引の安全性を保証する仲介サービスで、売買の当事者以外の第三者（エスクローエージェント）が決済を仲介して、代金を一時的に預かるしくみ。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億44百万円増加し、61億61百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の増加により前連結会計年度末と比較して96百万円増加し、47億69百万円となりました。固定資産においては、主に機械及び装置の増加及び長期預金の減少により前連結会計年度末と比較して48百万円増加し、13億92百万円となりました。

負債につきましては、主に長期借入金の増加、未払法人税等の減少及び買掛金の減少により前連結会計年度末と比較して1億25百万円増加し、9億25百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の増加及び剰余金の配当により前連結会計年度末と比較して18百万円増加し、52億35百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の連結業績予想につきましては、平成28年7月12日公表の連結業績予想値に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増した「株式会社プロモート」及び「山口再エネ・ファクトリー株式会社」を連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間より、重要性が増した「いなせり株式会社」を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,736,869	3,837,188
受取手形及び売掛金	644,123	669,731
商品	10,664	7,619
仕掛品	101,744	76,598
貯蔵品	962	629
繰延税金資産	33,325	19,169
未収入金	92,089	93,112
その他	89,813	102,174
貸倒引当金	△36,869	△37,093
流動資産合計	4,672,724	4,769,129
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	41,716	36,796
機械及び装置（純額）	—	351,809
土地	12,400	12,400
その他（純額）	25,171	34,228
有形固定資産合計	79,287	435,234
無形固定資産		
のれん	19,136	608
ソフトウェア	449,531	540,857
その他	12	7,767
無形固定資産合計	468,680	549,233
投資その他の資産		
投資有価証券	372,551	278,307
長期預金	300,000	—
差入保証金	95,325	91,422
長期貸付金	915	232
繰延税金資産	17,233	20,049
長期債権	9,390	20,129
その他	10,441	18,008
貸倒引当金	△9,390	△20,129
投資その他の資産合計	796,467	408,021
固定資産合計	1,344,436	1,392,489
資産合計	6,017,160	6,161,619

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	300,216	222,678
1年内返済予定の長期借入金	—	21,996
未払法人税等	150,691	39,305
未払消費税等	22,872	43,746
賞与引当金	—	10,621
役員賞与引当金	—	1,596
その他	261,970	231,549
流動負債合計	735,751	571,494
固定負債		
長期借入金	—	291,507
繰延税金負債	18,727	6,806
退職給付に係る負債	38,252	43,328
その他	7,370	12,641
固定負債合計	64,350	354,283
負債合計	800,101	925,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,104,360	1,104,977
資本剰余金	982,311	981,084
利益剰余金	2,851,486	2,787,685
株主資本合計	4,938,158	4,873,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,120	68,184
為替換算調整勘定	42,057	34,289
その他の包括利益累計額合計	89,178	102,474
新株予約権	2,052	2,928
非支配株主持分	187,668	256,690
純資産合計	5,217,058	5,235,840
負債純資産合計	6,017,160	6,161,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	4,022,007	3,663,625
売上原価	2,250,674	2,161,813
売上総利益	1,771,332	1,501,811
販売費及び一般管理費	1,618,772	1,276,621
営業利益	152,559	225,190
営業外収益		
受取利息	2,105	700
受取配当金	1,558	1,421
補助金収入	1,120	6,000
受取負担金	—	5,006
受取賃貸料	999	999
業務受託手数料	5,700	5,700
為替差益	—	78
その他	4,432	2,626
営業外収益合計	15,915	22,531
営業外費用		
支払利息	102	2,687
為替差損	306	—
支払手数料	265	265
その他	113	600
営業外費用合計	788	3,553
経常利益	167,686	244,168
特別利益		
投資有価証券売却益	17,933	—
関係会社出資金売却益	17,647	—
償却債権取立益	—	19,615
固定資産売却益	—	2,519
特別利益合計	35,581	22,134
特別損失		
固定資産売却損	95	—
固定資産除却損	1,717	21,204
減損損失	13,867	10,759
関係会社株式評価損	—	45,603
関係会社株式売却損	—	22,912
特別損失合計	15,679	100,479
税金等調整前四半期純利益	187,587	165,823
法人税、住民税及び事業税	61,007	87,334
法人税等調整額	△16,524	△9,877
法人税等合計	44,483	77,457
四半期純利益	143,104	88,366
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,447	28,335
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,656	60,030

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)
四半期純利益	143,104	88,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126,387	21,063
為替換算調整勘定	△22,750	△7,768
その他の包括利益合計	△149,137	13,295
四半期包括利益	△6,033	101,661
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,481	73,326
非支配株主に係る四半期包括利益	13,447	28,335

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,693,996	2,328,010	4,022,007	-	4,022,007
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	76,611	76,611	△76,611	-
計	1,693,996	2,404,622	4,098,619	△76,611	4,022,007
セグメント利益	470,580	95,945	566,526	△413,966	152,559

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△413,966千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計 (注)
	コンテンツ サービス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,388,750	2,274,875	3,663,625	-	3,663,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	37,020	37,020	△37,020	-
計	1,388,750	2,311,895	3,700,645	△37,020	3,663,625
セグメント利益	560,287	40,944	601,231	△376,040	225,190

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△376,040千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当社グループは、固定資産の減損損失について報告セグメント別には配分しておりませんが、当第3四半期連結累計期間における減損損失の計上額は10,759千円であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。